

寺田

守議員

大庭通嘉議員

村井勝彦議員

### 自主運行バスの 運行見直し

**問** 次年度の自主運行バスの契約更新により運行見直し（案）が示されている。この見直しにより1路線平均3便であったものが、5便から7便に増便となる。どのくらいの乗降人数の増加が見込まれるのか。

**答** 利用者の皆さんからいただいたご意見と、昨年度コミュニティセンターごとに実施した意見交換会でのご意見を反映させた。それにより①路線ごとの運行距離や運行時間の短縮、②運行便数の増、③袋井駅や上山梨地区周辺、浅羽支所周辺の各拠点での乗換えの円滑化を図ることができた。昨年度は、利用者数が1万5700人に落ち込んでいたが、今回の見直しで、ここ数年で一番利用が多かった平成27年度の利用者数2万人の目標を立てている。



自主運行バス「フォーちゃん号」

### 居住誘導区域の 移動手段は

**問** 居住誘導区域に指定されている地域でも、徒歩圏から外れる地域へのフォロワーは。

**答** 市街地整備された区域で徒歩圏から外れてしまうと天神町、春岡地区については自主運行バスで、高南地区については停留所型マインドタクシーの運行により、おおむね移動手段が確保されていると考える。

### 一般廃棄物最終処分場は

**問** 一般廃棄物最終処分場を現在森町一宮に設置し、袋井・磐田・森の3市町にて令和4年までの約束のもと共同管理をしている。次期建設予定地は覚書により磐田市に決まっているが現時点、地元の反対で見通しが立っていない。今後の対応をどうしていくのか。

**答** 森町最終処分場の埋め立て量は、令和元年で53%程度であり、延長をお願いするとともに、磐田市での建設地選定を引き続き要請しつつ。



森町一宮の中遠広域一般廃棄物最終処分場

### 税外負担の 廃止は出来ないか

**問** 全世帯を対象としたスポーツ協会会費など自治会費として徴収される税外負担は、近年世帯納付率も61・2%と低くなり不公平となっている。こうした世帯会費は廃止し、市が補助すべきではないか。

**答** スポーツ協会会費を見直すとともに、社会福祉協議会など、ほかの世帯会費のあり方も調査検討していきたい。

### 家族を介護する 若者への対応は

**問** 家族を介護する若者の実態は。

**答** 家族を介護する若者については、「ヤングケアラ」と称されているが、本市においては、福祉などの担当窓口などに相談はなく、ヤングケアラの実態は確認できていない状況である。

### 起立性調節障害に 対する取り組みは

**問** 起立性調節障害を発症している児童生徒への支援は。

**答** 関わりのある教員が症状を理解し、必要に応じて指導や支援に関して話し合い、本人のペースに合わせ、症状が治まってから登校する、めまいがしたら座って休むなど、主治医からの指示については、情報共有して支援している。



ヤングケアラ（イメージ）

**問** 磐田市が令和3年から民間に委託し、森町の最終処分場に焼却灰を入れなくなる。袋井市分の処理負担額が6000万円も増額となる。磐田市にも負担を求めたい。これまではないか。

**答** これまでの建設経過を踏まえ磐田市にも負担を求めたい。